

ノートパソコンのスペック一覧表(2026年度入学生向け)

(1)推奨するスペック												(2)最低限必要なスペック		
理学部		医学部			工学部			農学部			海洋政策科学部			
文部省、国際人間科学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部(生物学を除く)、工学部(右に指定の学部を除く)、システム情報学部、農学部(右に指定のコースを除く)		生物学科		医学科	医療創成工学科	保健学科	建築学科	電気電子工学科	機械工学科	食料環境システム学科生産環境工学コース	資源生命科学科応用動物学コース	生命機能科学科応用生命化学コース	海洋政策科学科	
①OS	・Microsoft社のWindows 11以上であること。 ・Apple 社のSequoia15以上であること。		Microsoft社のWindows 11 ※それ以外のOSの場合、プログラミングおよびC言語を授業するソフトウェアの使用が可能であるが、各自のPCにより実現は可能であるが、自分のPCで自習することができる可能性がある。		Microsoft社のWindows 11以上であること。 ※Windows以外のOSの場合、プログラミングおよびC言語を授業するソフトウェアの使用が可能であるが、各自のPCにより実現は可能であるが、自分のPCで自習することができる可能性がある。		Microsoft社のWindows 11以上であること。 ※それ以外のOSの場合、講義等で対応できない場合がある。		Microsoft社のWindows 11以上であること。 ※Apple 社のSequoia15以上であること。 ※OSの指定は検査技術科学専攻のみ		Microsoft社のWindows 11以上であること。 ※Apple 社のSequoia15以上であること。		Microsoft社のWindows 11以上であること。 ※Apple 社のSequoia15以上であること。	
②CPU	Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Intel Core 5以上の性能を持つこと。 ※快適に利用するためにはIntel Core Ultra 7以上が望ましい。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。		Windows 11以上またはmacOS Sequoia 15以上が動作するCPUであること。 ※AMD Ryzen、Qualcomm SnapdragonXやApple Siliconも可とする。	
③メモリ容量	8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。		16GB(ギガバイト)以上。 ※大容量データを安全に扱う場合は16GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには32GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには16GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには32GB(ギガバイト)以上が望ましい。		8GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。			
④HDD、SSD	SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		SSD 256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。		SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		SSDで、256GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。 ※快適に利用するためには512GB(ギガバイト)以上が望ましい。		HDD、SSDのいずれかで128GB(ギガバイト)以上が搭載されていること。			
⑤無線LAN	IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be (Wi-Fi 7)に対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax/beが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 对応していること。 (※Wi-Fi 6(6E)、Wi-Fi 7は該当します)		IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be (Wi-Fi 7)に対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax/beなどアルファベットの添字部分にaxかbeが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be (Wi-Fi 7)に対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax/beなどアルファベットの添字部分にaxかbeが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be (Wi-Fi 7)のいずれかに対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/axなどアルファベットの添字部分にnまたはaxが含まれている場合はこれに該当します)		IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6E)またはIEEE 802.11be (Wi-Fi 7)のいずれかに対応していること。(IEEE802.11 a/b/g/n/ac/axなどアルファベットの添字部分にnまたはaxが含まれている場合はこれに該当します)			
⑥バッテリー駆動時間	8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること。 ※第12世代Core i7は電力効率が悪い場合があるので注意。		8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること。		8時間程度以上であること。			
⑦その他	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・画面解像度1,920×1,200以上が望ましい。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。(Type-Cアダプタ経由)。		・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・マイク・カメラが利用できること。(必ずしも内蔵型でも可)。 ・USB3.0以上(type-C)が充電用とは別に1つ以上利用できること。 ・教室での設定操作を考えると、イヤホンは有線で使用することが望ましい。 ※画像解像度の指定は検査技術科学専攻のみ		・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。		・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。		・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。		・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。			
⑧ネットワークについて	遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。		遠隔授業では動画の視聴やWeb会議への参加をした場合、一日の授業で500MB(メガバイト)～1GB(ギガバイト)程度の通信量が予想されます。自宅のインターネット回線にWi-Fi接続するか、モバイルのみで通信する場合は、容量不足(いやわるギガ不足)にならないようなプランの契約ないしはプランの変更をお勧めします。			
⑨備考	・以上は新規にノートパソコンを購入して、4年間以上同じノートパソコンを一般的なオフィス用や家庭用として利用する場合の条件です。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・画面解像度1,920×1,200以上が望ましい。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。 ・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4.0のいずれかが利用できること。		・以上は新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。		・以上は新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。		・以上は新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。		・以上は新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。		・以上は新規にノートパソコンを購入するなどして、4年間以上同じノートパソコンを利用する場合の条件です。			

## PCスペックに関する注意事項

①OS  
・Windows 10 の場合、無償でWindows 11 にアップグレードできます。  
・サポート期限切れのOSを、大学で利用してはいけません。Windows のサポート期限についてはMicrosoft のWebページを参照してください。macOS については、最新のものより2つ前までが通常サポートされています。  
・Windows Update あるいはmacOS のアップデートにより、常に最新の状態にアップデートしてください。

③メモリ容量  
・G はギガを指します。  
・複数のアドレスを同時に利用したり、プログラミングを行ったりするなら8GB バイト程度が必要になります。

④HDD、SSD  
・HDD よりもSSD やeMMC のほうが振動に強くなります。また、SSD はよりも起動速度が速くなります。

・必要な容量は各自の利用の仕方によります。例えば、自分のスマートフォンのバックアップを取りたいなら、その分の容量が余分に必要です。

⑤無線LAN  
・IEEE 802.11 b/g のあるいはIEEE 802.11 b/g/n 対応の機器の場合は、授業中などの混雑時に繋がりにくくなる可能性があり、全体の速度にも影響がでます。この場合、IEEE 802.11 a/n 対応のUSB 無線LANなどを購入して利用してください。

⑥バッテリー  
・大学には充電する設備はありません。大学で利用する時間も考慮して、必要なバッテリー容量を選択しましょう。  
・新規にノートパソコンを購入する場合はカタログ値を参考してください。  
・バッテリーは消耗品です。すぐにバッテリー切れが起るなどの場合は、バッテリーを交換しておきましょう。

⑦ソフトウェア  
・以下のソフトウェアのインストール方法についてはマニュアルを準備しています。入学前にインストールしておきたい方にはあります。

Thunderbird、Adobe Acrobat Reader DC、Microsoft 365※

・Microsoft 365※は、入学後、無償でダウンロードできます。

※在学中は、Officeを無料でご利用いただけます。(卒業後のご利用はできません)

・セキュリティ対策ソフト

・Windows 11 の場合、付属しているWindows Defender を利用できます。

・Trellix Endpoint Security for Mac を入学後、無償でダウンロードできる予定です。

⑧備考  
・ノートパソコンが必要な授業について、ノートパソコンを持参し利用することは、学生各自の責任です。ノートパソコンが利用可能な状態を維持しましょう。

・ノートパソコンは高価です。新規購入する場合は自分で良く使う位置に選択します。

・SurfaceやOneモードで接続する場合は、Microsoft から認証されたソフトウェアしかインストールすることができません。Sモードには様々なメリット・デメリットがあり、解除することもできますが、一度解除すると再度Sモードに戻すことはできません。

・遠距離から接続する場合は、ノートパソコンの経路を考慮しなければなりません。接続性と強度性のバランスを考えて選択しましょう。

・ノートパソコンは精密機器です。できるだけ運動などを与えないように気をつけましょう。ノートパソコン用のバッグなどを活用しましょう。

・メーカーあるいは販売店の保証には効果どうなど入ることで対応します。

・通常の場合は、水没や落下などによる故障は保証の範囲外です。販売店で保証内容についても良く確認しましょう。

有利になりますが、動産保険などに入ることで対応します。

・メーカー製品によっては初期故障が多いなどの場合があります。新規購入の場合は、機種選択について販売店と相談するのも良いでしょう。